

ウクライナ人道危機から半年 ～赤十字活動の軌跡とこれから～

令和4年2月24日に激化したウクライナ人道危機から半年が経過。さらなる長期化が懸念される中、日本赤十字社ではウクライナ情勢および救援活動について過去2回オンラインでの報告会を実施しています。令和4年8月26日に第3回目の報告会が開催され、日本国内からウクライナへ派遣されました医療従事者による医療救援活動についての活動報告が行われました。下記サイトで報告会の内容がご覧いただけます。

赤十字ウクライナ報告会 検索



皆さまからお寄せ頂いた「ウクライナ人道危機救援金」などから国際赤十字に対して以下のとおり緊急資金援助を実施しています。

合計支援金額 **50.2億円** ※2022年8月5日時点
(内訳：IFRC25.1億円/ICRC25.1億円) 詳しくはこちら→



チャイルドフレンドリースペースにて子どもと遊ぶ連盟の職員

「ACTION!防災・減災」プロジェクト特設サイトで命を守る情報を!

日頃の備えは、災害時に、自分と大切な人を守ることに繋がります。この機会に、あなたの災害への備えをチェックしてみませんか。

特設サイトでは、避難に役立つ情報や災害に備えるノウハウなどの「命を守る」情報を掲載しています。家の中の点検とともに、家族や身近な人たちと一緒にサイトを見ながら防災力を高めましょう。災害時の、おうちの中の危険性をわかりやすくまとめた動画、漫画を是非ご覧ください。



絵本動画「おうちの中のモンスター」



漫画「災害に備えておうちの中の安全対策のススメ」

短期講習

いきなり長時間はちょっと…という方、まず短期講習を体験してみませんか？どなたでも参加可能です。高知市総合あんしんセンターで実施します。

災害時高齢者生活支援講習

災害時に少しでも快適に過ごすための方法について

10月22日(土) 13:00~15:00 教材費/152円

幼児安全法短期講習

●幼児期に起こりやすい急病について、一時救命処置(心肺蘇生・AEDの取り扱い)について

11月5日(土) 10:00~11:30 教材費/152円

健康生活支援(短期)

●認知症について

10月22日(土) 15:30~17:00 教材費/152円

●高齢者の着替えの介助やおむつの交換しかたについて

12月3日(土) 13:00~14:30 教材費/100円

●高齢者の身体の起こし方、介助のしかたや車いすの取り扱い方について

2023年2月11日(土) 13:00~14:30

教材費/100円

※各講習の時間、場所は都合により変更になる場合があります。詳しくは日赤高知県支部(088-872-6295)までご連絡ください。

※各講習は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行ったうえで実施します。また、感染の状況によっては中止とさせていただきます。ご了承ください。

講習会に関するお問い合わせ・お申込みについてはHPからお願いします。アクセスはこちら



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ふれあい

編集・発行

日本赤十字社高知県支部広報委員会

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター1階

TEL:088-872-6295 FAX:088-872-6299



ホームページは
こちらから



特集 3年ぶりにトレセンを開催しました

Topics

- ◆3P 3年ぶりに赤十字パレードを実施
- ◆3P 3年ぶりに地域防災フェスタに参加
- ◆3P 香美市で治療奉仕を実施
- ◆4P 全国赤十字大会での寄付者への表彰および活動資金ご協力者のご紹介
- ◆4P 高知県支部令和3年度決算
- ◆5P 医療公開講座を開催しました
- ◆6P 高知県内の献血者数および輸血者数ってどのくらい?
- ◆7P サマーキャンペーン2022を実施しました
- ◆7P プレゼントクイズ
- ◆8P ウクライナ人道危機から半年 ～赤十字活動の軌跡とこれから～
- ◆8P 「ACTION!防災・減災」プロジェクト特設サイトで命を守る情報を!
- ◆8P 短期講習会日程について

第57号

令和4年





トレセンを開催しました！

「高知県 小・中・高等学校青少年赤十字 夏期リーダーシップ・トレーニング・センター」(略して「トレセン」)を今年度は感染対策を徹底して開催しました。

トレセンは、青少年赤十字のメンバーが、グループワークやフィールドワークなどの体験を中心としたトレーニングを通して**自主性**と**指導性**、**知識・技術**を集中的に学習し、あわせて相互の親睦を図ることを目的としています。

3年ぶりのトレセンにはたくさんの笑顔があふれ、大きな成果がありました。

- 日 時：令和4年7月29日(金)～7月31日(日)
- 場 所：国立室戸青少年自然の家
- 参加者：小学生7名、中学生4名、高校生10名、指導者(先生)・スタッフ12名



まずはアイスブレイキングで打ち解けよう



貿易ゲームはいつも大人気



みんなで作ったカレーは最高



フィールドワークの関門を協力してクリア！

行動するのは恥ずかしいことじゃないことを学校の人に伝えたい。

参加者の感想(一部)

リーダーの大切さや、リーダーという役割するには何が必要なのかを学ぶことが出来ました。

自分ひとりが気づいて実行するよりも、たくさんの人たちと自分の意見を交換することで良い案が出てみんなで楽しく行動ができた。

ここでたくさん自分を出せた気がするので、帰ってから積極的に自分から活動していきたい。

知らない人と仲良くなるのはすごく怖いけど、すごくわくわくして嬉しいことだと感じた。

先生から

初めて参加させていただき大変勉強になりました。積極性・協調性を引き出すための仕掛けが随所に見られ、思考・判断・行動することで、日を追う毎に成長していく生徒の姿を見ることができ嬉しかったです。この貴重な経験を日頃の教育活動にも活かしていきたいと思います。

令和4年
4/23
土



コロナ禍となり3年目を迎えた今年度は、感染予防対策の徹底と参加者数を例年の半分以上といたうで、3年ぶりに4回目の**赤十字運動月間パレード**を開催しました。**土佐女子中学・高等学校バトン部**および**吹奏楽部**に先導され、県内**赤十字関係者**および**青少年赤十字メンバー**らがハートラちゃんフラグが掲げられた帯屋町商店街を行進。小雨が心配される中での出発となり、惜しくも中央公園手前で行進はストップしましたが、観客からは「街が明るくなっていいね」といった声も聞かれ、写真を撮ったり、知り合いに手を振ったりと終始にぎやかな雰囲気に包まれました。



中高生から奉仕団員まで様々な世代が一丸となって赤十字をPRしました。

令和4年
5/28
日

四万十市で県主催の**総合防災訓練・地域防災フェスティバル**が開催されました。

訓練会場では**赤十字救護班**が医療活動訓練に参加し、地域防災フェスティバル会場では**幡多ブロックの地域奉仕団**らが集まり、炊飯袋で炊き上げた約300食のおにぎりを来場者に配布しました。また、**安全奉仕団**によるAEDと人形を使った救急法講習を来場者に実施し、早期救命の大切さを伝えました。



炊飯袋に具材を入れたら、大きな釜で一気に炊き上げます



当県支部が保有する仮設診療所(dERU)で多数傷病者への治療を実施



初めてのAEDにドキドキ…



今年は、梅味と松茸味の2種類を作りました



令和4年
7/13
水

地域貢献活動のひとつとして「**一日赤十字**」と称し、高知県立盲学校の生徒および教員が地域に出向き、その地域の方へ無料でマッサージを行う**治療奉仕**を2年ぶりに実施しました。会場では、**香美市赤十字奉仕団**が会場準備、呼び込み、受付、物品の消毒作業などを行い、参加者が安心して施術を受けられる環境を整えました。

参加者からは、「気持ちよくて羽根が生えたよう」「体が軽くなって走れる」といった声も聞かれ、長引くコロナ禍で溜まった疲労を和らげるひとときを提供できました。

盲学校では、平日も予約制(有料)であんま・マッサージ・指圧、はり、灸の施術を行っています。ご興味のある方は下記へ直接お問い合わせください。



高知県立盲学校
(高知市大膳町6-32)
電話：088-824-8451



地域奉仕団、治療奉仕団で最後に1枚



いつでも丁寧な施術を心がけています

いつもあたたかいご支援をありがとうございます

令和4年
5/19
木

東京の明治神宮にて3年ぶりに全国赤十字大会が開催され、赤十字奉仕団およびご寄付法人様を代表し、5名の方にご参会いただきました。
また今回は、名誉総裁の皇后陛下より、高知市の西口昌宏様へ有功章が授与されました。西口様には、父富太郎氏の「いつか社会奉仕をする時機が来る。」との幼少期からの教えをきっかけに赤十字社へご協力を頂いています。



活動資金ご協力者一覧

2022年1月～7月までに5万円以上のご寄付をいただき、掲載についてご了承いただいた個人・法人様を掲載しています。（法人敬称略）

- 高知市
医療法人尚腎会高知高須病院
医療法人博生会内田産婦人科
株式会社ニッサン・コンサルティング
株式会社ビル環境衛生管理
株式会社晃立
株式会社高知銀行
株式会社四国銀行
公益社団法人高知県建設技術公社
高大建設株式会社
柴田恵子様
西口昌宏様
有限会社永野設備
有限会社興真ビル
有限会社筒井板金工業
- 南国市
一般社団法人土佐岡郡医師会
高知空港ビル株式会社
アールビジネスホテル
株式会社丸富運送
- 香美市
株式会社三谷ミート
- 須崎市
株式会社カネエイ
株式会社須崎青果
- 土佐清水市
足摺環境衛生株式会社
- いの町
有限会社エイトテック
- 四万十町
有限会社外崎建設
- 黒潮町
社会福祉法人土佐七郷会



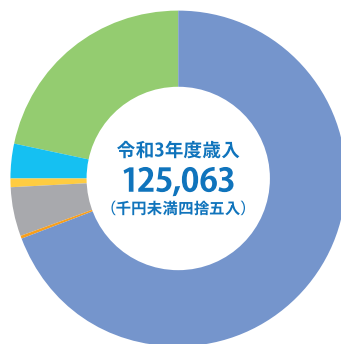
医療法人博生会内田産婦人科様（高知市南久万）より、医療に役立てていただきたいとご寄付をいただきました。日本赤十字社では寄付金額に応じた表彰制度を設けています。

（単位：千円）

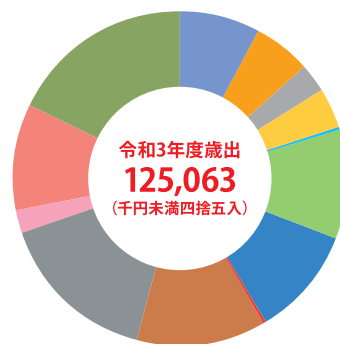
令和3年度 決算の概要

項目	R03
活動資金収入	86,767
委託金収入	255
補助金及び交付金収入	5,954
繰入金収入	1,044
雑収入	3,948
前年度繰越金	27,095
合計	125,063

歳入



歳出



項目	R03
災害救援活動や物資の備蓄に	9,741
救急法等各種講習の普及に	7,212
ボランティア活動の推進に	3,535
青少年赤十字の活動に	4,602
国際的な赤十字活動に	547
地域での赤十字活動に	13,259
赤十字思想を広げるために	12,880
赤十字施設の活動に	500
資金積立（災害・施設整備等）	15,673
各事業共通管理費	19,556
資産の管理、修繕等に	2,615
全国的な赤十字の事業、活動に	12,737
翌年度以降の事業に備えて	22,206
合計	125,063

みなさまからのあたたかいご支援、ありがとうございました。
日本赤十字社高知県支部はこれからも全国の赤十字施設と連携しながら人道的活動を行ってまいります。引き続きのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



医療公開講座を開催



病院長 谷田信行

7月16日（土）13時30分より総合あんしんセンターにて、高知赤十字病院 医療公開講座を開催いたしました。今回は高知新聞企業、日本赤十字社高知県支部との共催で、当院の医師2名が講演を行いました。コロナ禍の中であるため手指消毒や検温、会場の換気等、感染対策を徹底しながら無事開催することができ、多くの県民の皆さまに参加していただくことができました。

講演内容としては、

- 講演①整形外科 高橋芳徳医師による「整形外科で診る手のケガー骨折から切断まで」
- 講演②呼吸器外科 吉田光輝医師による「肺について知りたいー肺がんの手術治療とはー」でした。参加いただいた方からはアンケートへの回答という形で、下記のようなご意見をいただくことができました。

今後も広く県民の皆様に、病気や治療、当院で行っている診療について医師から直接お話しさせていただく公開講座を継続して開催してまいります。次回開催時には、ぜひ皆さまお気軽にご参加ください。



【講演後アンケートからのご意見（一部抜粋）】

講演①（高橋医師）

- ・ビデオで分かりやすく説明していただき、素人でも勉強になりました。質問にも丁寧に答えられて、医者との身近な時間を共有出来、次回も参加したいと思いました。
- ・理解しやすくお話しくださりありがとうございました。指の損傷、切断は大変な事だと理解できました。事故、ケガをしない様、いつそうの注意をして生活したいと思いました。

講演②（吉田医師）

- ・吉田先生の説明も分かりやすく、身近にも肺がんの方も多く大変本日の講演を楽しみにしておりました。肺の手術の方法で、ロボット支援手術があること、今回で初めて知りました。医学の発展のすばらしさも分かりやすくビデオで見ることができました。
- ・先生の医療に対する姿勢、患者様に対する思いが伝わるお話でした。

その他

- ・医学の進歩に驚かされました。病院にお世話になることは時々ありますが、医師の立場からのお話を聞くことにより、そのことがよくわかりました。日々のトレーニングと臨床、本当にお疲れ様です。

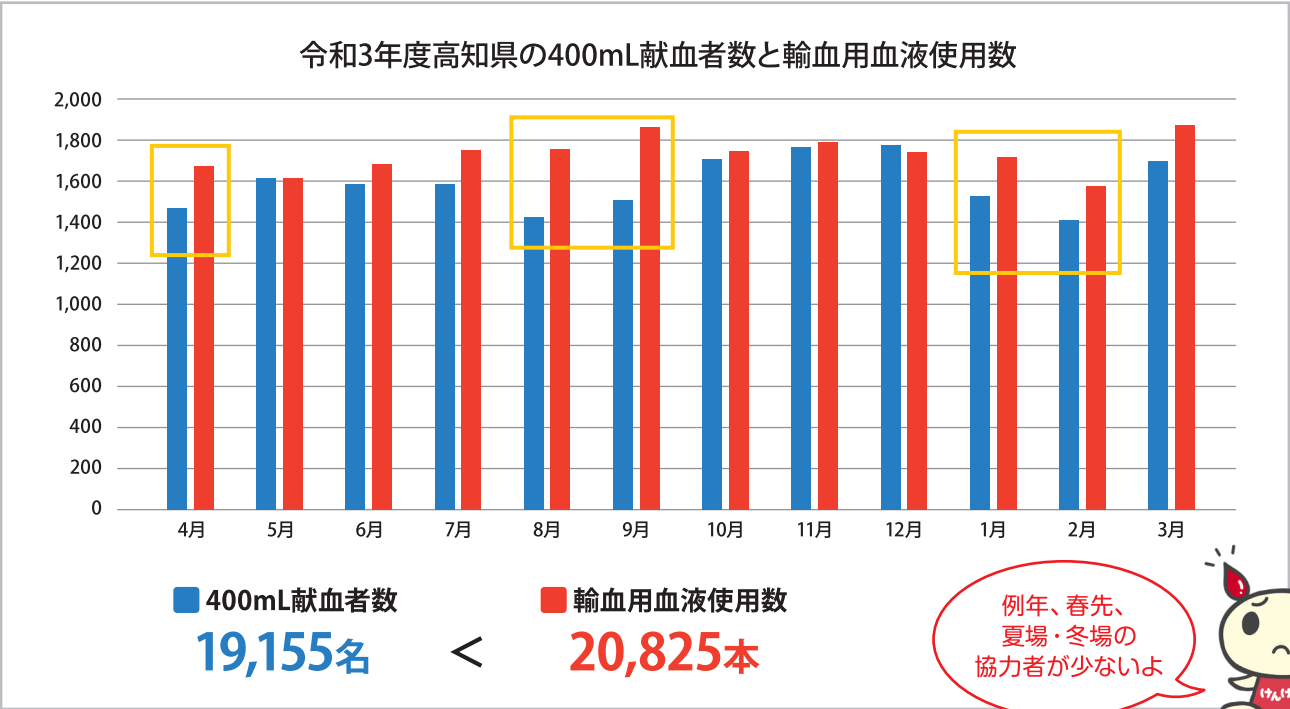


整形外科医師 高橋芳徳



第三外科部長 吉田光輝

高知県民はどれくらい献血して、どれくらい輸血を受けているのか？



令和3年度の高知県の400mL献血者数は**19,155名**となっており、1日に**約52名**のご協力をいただきました。対して、400mL献血由来の輸血用血液使用数は**20,825本**となっており、1日に**約57名分**の血液が使用されたことになります。その結果、高知県は献血者数が輸血用血液使用数を**1,670名分下回**っており、不足している分は他県からまかなっている状況です。

医療機関への安定的な血液の供給のためにも、献血へのご協力をお願いします！



（献血Web会員サービス）



ラブラッドへの登録及び献血の予約は左記二次元コードから！

現在高知県では、3密の回避及び有効期間のある輸血用血液を医療機関からの需要に応じて確保していくために、Web予約を推進しています。

献血にご協力いただく際にはぜひ、**献血Web会員サービス「ラブラッド」**からの**Web予約**をお願いします。

なお、**電話予約**も受け付けています！

※予約なしでも献血にご協力いただけます。



献血ルーム『ハートピアやまもも』

〒780-0870
高知県高知市本町1丁目1-3 朝日生命高知本町ビル2階

TEL: 088-822-5454

血小板成分献血予約専用 TEL: 0120-86-2553

受付時間

【400mL献血】9:30～17:30

【成分献血】9:30～16:30



献血バス

県内各地を訪問し、献血を行っております。

最新の献血バスの運行スケジュールはホームページでご覧いただけます。

（右の二次元コードよりアクセスできます）

※献血バスでは400mL献血のみ行っております。

献血推進課（献血バス）TEL: 088-866-6667 平日8:30～17:00まで



「サマーキャンペーン 2022」を実施しました！

7月3日（日）にフジグラン高知にて、高知県の学生献血推進ボランティア「高知県学生献血クロス倶楽部」主催によるサマーキャンペーン2022を実施しました。本キャンペーンは血液の確保しづらい夏場に若年層を中心に献血者を呼び込もうと、中四国各県の学生献血推進団体が毎年主催しているイベントです。

当日はクロス倶楽部の4名が参加し、献血の呼びかけや来場者へのアンケートのお願い、献血者へのプレゼントの配布を行い、42名の方に献血にご協力をいただきました！

この日は献血ルーム「ハートピアやまもも」でも20名の方に400mL献血のご協力をいただき、合計で1日に62名の方に協力いただきました。

中四国オリジナルの
パネルで呼び込みを
行います。





少人数での活動、
頑張りました！

学生ボランティア募集中！

高知県学生献血クロス倶楽部では一緒に活動する学生メンバーを募集しています。

ご興味のある方は下記ツイッターをご覧ください、連絡フォームよりご連絡をお願いいたします！

～今後の活動予定～

2022年12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン2022

（詳細は血液センターホームページに掲載予定です。）

クロス倶楽部twitter



連絡フォーム





プレゼントクイズ

クイズ わたしは誰でしょう？

ヒント：P.3に答えが隠れています。

①ハートリちゃん ②ハートラちゃん ③ハートルちゃん

締切 令和5年1月31日

応募方法

- Web：右記二次元コードから
- メール：somu@kochi.jrc.or.jp
- はがき：〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター1階 日本赤十字社高知県支部あて

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



回答内容

① お名前 ② ご住所 ③ ご年齢

④ 広報誌ふれあいの入手場所

⑤ 今号のご感想（関心のあった記事、今後取り上げてほしい内容など）

⑥ クイズのこたえ

プレゼント

けんけつちゃん
スマホリングを
5名様に



※お寄せいただいた個人情報は、個人情報に関する法令を遵守のうえ、厳正に管理します。なお、日本赤十字社からの各種ご案内を送付する等の目的で使用する場合がございます。

・個人情報の取り扱いの詳細はこちら <http://www.jrc.or.jp/privacy/>